

【研究ノート】

『燕石十種』レファレンス索引（衣・食・住・生業編）  
—中央公論社本をもとに—

栗原智久\*

キーワード 江戸随筆 燕石十種 レファレンス 索引 衣 食 住 生業

『燕石十種』は岩本佐七（達磨屋活東子）編、安政4年～文久3年（1857～1863）成立、最も古い江戸随筆の集成本である。明治40年～41年（1907～1908）に國書刊行會で活字翻刻され、さらに昭和54年～55年（1979～1980）に中央公論社で翻刻（以下、中央公論社本）され、刊行されている。全部で60作品が集められている。

江戸随筆は、その集成本としては最大級である吉川弘文館の『日本随筆大成』の宣伝文をそのまま借りれば、“現代のエッセイ等とは違い、もっと幅広く内容豊富な、見聞・述懐・紀行・考証など、江戸人の自由な筆にまかせて書かれた多種多様な奇事異聞”のこととある。本来は読みものであるに違いなく、他愛ない内容もあるが、江戸のこと、江戸時代のことが同時代（江戸時代）人の自由な筆によって書かれている点から、調査研究等にも使われる。

江戸東京博物館図書室において、江戸に関する質問を受ける。「衣」「食」「住」そして「生業」に関することが多い。対して、回答を提示してくれるレファレンスブックには、この江戸随筆を種本にしているものが少なくない。

直接江戸随筆で調べてみたいという場合、活字翻刻された集成本は有効なかたちであると言えよう。しかし、数多ある作品のどこに何が書かれているかを即座に知るのは容易なことではない。

これに應える大著として『日本随筆索引』（岩波書店）や『随筆辞典』1～5（東京堂出版）といった江戸随筆を網羅的に検索できる〈五十音索引〉があるが、この研究ノートではとくに『燕石十種』をとりあげ、質問の多い衣・食・住・生業に関することを中央公論社本で調べるのに第何巻の何ページをみればよいかを検索するための〈項目索引〉を作成してみた。

中央公論社本は、今日、比較的まだ目に、手にしやすいと思われる。全部で6巻からなり、第1巻に9作品、第2巻に10作品、第3巻に8作品、第4巻に8作品、第5巻に13作品、第6巻に12作品が収められている。中には1作品1テーマで書かれたものもあるが、この研究ノートで対象としたのは1作品に“多種多様な”ことが書かれている江戸随筆である。

ちなみに江戸東京博物館所蔵の中央公論社本は、第1巻から順に資料番号83610638～83610643 or 90400608～90400613、請求記号0815/7/1～6 or 0815/9/1～6となっている。

---

\*東京都江戸東京博物館司書

## 凡 例

1. 「項目」欄には、目次・目録のある作品（「神代余波」を除く）から、原則として目次・目録に書かれたそのままの言葉を索引語（検索語）として書き出したが、言葉を変えたり加えたりしたものは（ ）で括って記した。
2. 「巻数」欄は、中央公論社本全6巻中第何巻かをあらわしている。
3. 該当のページが複数ページにわたっている場合、「ページ」欄には最初のページだけを記した。
4. 「挿絵」欄は、関係する挿絵がひとつでもあるときは「○」、複数あるときは「◎」とした。

## 衣

大分類	小分類	項 目	巻数	ページ	作 品 名	挿絵
衣服		男女風俗	第1巻	p. 169 p. 175 p. 191 p. 222	我衣	
		文金風	第1巻	p. 232	賤のをだ巻	○
		浅黄流行	第1巻	p. 234	賤のをだ巻	
		衣類の色・丁子茶	第1巻	p. 238	賤のをだ巻	
		官医の事	第1巻	p. 279	塵塚談	
		吉原遊女衣服の事	第1巻	p. 281	塵塚談	
		(天明頃の大通人・野暮人)	第3巻	p. 115	神代余波	○
		(むかしの風)	第3巻	p. 132	神代余波	○
		(安永・天明頃の風)	第3巻	p. 132	神代余波	○
		(天明末頃より寛政始頃迄の風)	第3巻	p. 132	神代余波	○
		(当世の風)	第3巻	p. 132	神代余波	○
	合羽・簀	木綿合羽	第1巻	p. 192 p. 195	我衣	○
		(ありなき合羽)	第1巻	p. 198	我衣	
		(桐油合羽)	第1巻	p. 211	我衣	
		簀	第1巻	p. 211	我衣	
		女合羽	第1巻	p. 269	塵塚談	
		(夏合羽)	第1巻	p. 269	塵塚談	
		(座敷合羽)	第3巻	p. 130	神代余波	○
	上下 (袴)	(上下)	第1巻	p. 249	賤のをだ巻	
		裏付上下の始	第1巻	p. 341	瀬田問答	
	小袖	(小袖)	第1巻	p. 191 p. 192 p. 222	我衣	
		(小袖)	第1巻	p. 235	賤のをだ巻	
	羽織	羽織	第1巻	p. 193	我衣	
		(紐)	第1巻	p. 193	我衣	◎
		羽織	第1巻	p. 249	賤のをだ巻	
		羽織の紐	第1巻	p. 251	賤のをだ巻	◎
		羽織長短の事	第1巻	p. 280	塵塚談	
		小紋の羽織	第2巻	p. 20	奴師労之	
	袴	(袴)	第1巻	p. 249	賤のをだ巻	

髪	髪形	男女風俗 (髪形)	第1巻	p. 180	我衣	◎
		文金風	第1巻	p. 232	賤のをだ巻	○
		(男女の髪)	第1巻	p. 253	賤のをだ巻	◎
		男子髪 of 結様替りし事	第1巻	p. 285	塵塚談	
		朝士 (はたもと) 惣髪 of 事	第1巻	p. 285	塵塚談	
		女郎の髪	第1巻	p. 318	後はむかし物語	
		町芸者	第2巻	p. 304	蜘蛛の糸巻	
	髪油	伽羅の油	第1巻	p. 185	我衣	
		鬢付油 of 事	第1巻	p. 281	塵塚談	
	髪結	髪結	第1巻	p. 225	我衣	
		女髪結 of 事	第1巻	p. 296	塵塚談	
		女髪ゆひ of はじめ	第2巻	p. 277	蜘蛛の糸巻	○
	道具—かんざし	(簪)	第1巻	p. 184	我衣	○
		花かんざし	第1巻	p. 238	賤のをだ巻	
	道具—くし	(櫛)	第1巻	p. 185	我衣	○
		櫛おさへ	第1巻	p. 237	賤のをだ巻	○
		朱ぬりの櫛	第1巻	p. 238	賤のをだ巻	
	道具—こうがい	(筭)	第1巻	p. 179 p. 186	我衣	○
	道具—たばさし	たぶさし (たばさし)	第1巻	p. 231	賤のをだ巻	◎
		たばさし of 始り	第2巻	p. 303	蜘蛛の糸巻	
	道具—もとゆい	(元結)	第1巻	p. 186	我衣	
かぶりもの	被衣	カツギ	第1巻	p. 237	賤のをだ巻	
		被衣	第3巻	p. 133	神代余波	○
	笠	(笠)	第1巻	p. 164 p. 211	我衣	◎
		女の菅笠	第1巻	p. 238	賤のをだ巻	○
		女夏笠 of 事	第1巻	p. 269	塵塚談	
	頭巾	頭巾	第1巻	p. 164 p. 196	我衣	◎
		大明頭巾	第1巻	p. 220	我衣	○
		頭巾	第1巻	p. 252	賤のをだ巻	◎
	帽子	(帽子)	第1巻	p. 196	我衣	
		女の帽子	第1巻	p. 237	賤のをだ巻	
		綿帽子売 of 事	第1巻	p. 287	塵塚談	
		綿帽子	第6巻	p. 210	麓の花	◎
はきもの	靴	(小児の靴)	第1巻	p. 200	我衣	○
	下駄	下駄	第1巻	p. 204	我衣	◎
	雪踏	雪踏	第1巻	p. 165 p. 203	我衣	◎
	草履	草履	第1巻	p. 200	我衣	◎
	足袋	足袋	第1巻	p. 198	我衣	○
		染わけ足袋	第6巻	p. 208	麓の花	
	鼻緒	鼻緒	第1巻	p. 208	我衣	○

## 食

大分類	小分類	項 目	巻数	ページ	作 品 名	挿 絵
江戸	浅草海苔	浅草海苔	第2巻	p. 223	墨水消夏録	
	うなぎ	うなぎ	第2巻	p. 20	奴師勞之	
		(蒲焼)	第3巻	p. 126	神代余波	◎
	白魚	白魚の事	第2巻	p. 173	事蹟合考	
	すし	鮓売	第1巻	p. 325	後はむかし物語	
		おまん鮓	第5巻	p. 400	江戸塵拾	
	てんぷら	てんぷらのはじめ	第2巻	p. 286	蛛の糸巻	
	奈良茶飯	奈良茶飯	第2巻	p. 247	墨水消夏録	
		(奈良茶飯)	第2巻	p. 287	蛛の糸巻	
	初物	初物停止	第1巻	p. 172	我衣	
		初鰯魚	第2巻	p. 306	蛛の糸巻	
麺類	うどん	温飩に胡椒	第2巻	p. 18	奴師勞之	
		温飩の事	第4巻	p. 98	江戸真砂六十帖広本	
	そば	正直そば	第1巻	p. 219	我衣	
		蕎麦振舞	第2巻	p. 18	奴師勞之	
		蕎麦切の事	第4巻	p. 98	江戸真砂六十帖広本	
魚介類		魚売の事	第1巻	p. 283	塵塚談	
	いわし	鰯売の事	第1巻	p. 293	塵塚談	
	かつお	松魚の事	第1巻	p. 295	塵塚談	
		初鰯魚	第2巻	p. 306	蛛の糸巻	
	ふぐ	河豚・鯨の事	第1巻	p. 287	塵塚談	
野菜類		青物売の事	第1巻	p. 283	塵塚談	
	かぼちゃ	(唐茄子)	第3巻	p. 146	神代余波	
	さつまいも	薩摩芋の事	第1巻	p. 291	塵塚談	
		(さつまいも)	第3巻	p. 146	神代余波	
加工食品	蒲鉾	(蒲鉾)	第3巻	p. 126	神代余波	○
	豆腐	(豆腐)	第2巻	p. 18	奴師勞之	
		吉原豆腐	第5巻	p. 399	江戸塵拾	
		豆腐の紅葉	第6巻	p. 196	麓の花	
		菓子の変格	第2巻	p. 285	蛛の糸巻	
菓子類	砂糖	倭製砂糖の事	第1巻	p. 295	塵塚談	
	だんご	お亀だんご	第5巻	p. 399	江戸塵拾	
		米つき団子	第5巻	p. 399	江戸塵拾	
	まんじゅう	(饅頭)	第1巻	p. 168	我衣	
	もち	(道明寺)	第1巻	p. 168 p. 170	我衣	○
		幾世餅	第2巻	p. 222	墨水消夏録	
		両国橋幾世餅が事	第4巻	p. 71	江戸真砂六十帖広本	
		樽割	第1巻	p. 188	我衣	
嗜好品	酒	新酒くばりの事	第1巻	p. 285	塵塚談	
		甘酒の事	第1巻	p. 297	塵塚談	
		刻煙草	第1巻	p. 220	我衣	○
	たばこ	キセル	第1巻	p. 242	賤のをだ巻	◎
		キザミ煙草売	第1巻	p. 254	賤のをだ巻	
		ガチャガチャ多葉粉の事	第1巻	p. 280	塵塚談	
		多葉粉刻様の事	第1巻	p. 296	塵塚談	
		煙草	第1巻	p. 320	後はむかし物語	
		煙草を客に出す	第6巻	p. 206	麓の花	◎
		煙草袋	第6巻	p. 207	麓の花	○



## 住

大分類	小分類	項 目	巻数	ページ	作 品 名	挿絵
江戸		下町を江戸と云事	第1巻	p. 297	塵塚談	
		新武蔵（下総との境）	第1巻	p. 338	瀬田問答	
		市人の数	第2巻	p. 294	蜘蛛の糸巻	
	暮らし・風俗	男女風俗	第1巻	p. 169 p. 190	我衣	
		延享・寛延頃の風俗	第1巻	p. 232	賤のをだ巻	
		下女下男給金の事	第1巻	p. 278	塵塚談	
		享保・元文年間諸品価の事	第1巻	p. 291	塵塚談	
		貧は士の常なる事	第1巻	p. 302	塵塚談	
		京の人情（江戸との比較）	第1巻	p. 327	後はむかし物語	
		江戸城	第2巻	p. 159	事蹟合考	
	大名屋敷	（下屋敷）	第1巻	p. 270	塵塚談	
		酒井家屋敷の事	第2巻	p. 163	事蹟合考	
		御三家并同屋敷の事	第2巻	p. 169	事蹟合考	
		加藤清正并同屋敷の事	第2巻	p. 171	事蹟合考	
		伊達家屋敷の事	第2巻	p. 172	事蹟合考	
		尾張家市ヶ谷屋敷の事	第2巻	p. 174	事蹟合考	
		紀州家屋敷の事	第2巻	p. 174	事蹟合考	
		水戸家屋敷の事	第2巻	p. 174	事蹟合考	
	旗本屋敷	白山御殿礎之事	第1巻	p. 277	塵塚談	
	水道	掘貫井戸の事	第1巻	p. 302	塵塚談	
		玉川上水の始	第1巻	p. 341	瀬田問答	
		上水の事	第2巻	p. 179	事蹟合考	
	屋根	蠣殻屋根の事	第1巻	p. 282	塵塚談	
	風呂	風呂屋	第1巻	p. 225	我衣	
		（風呂屋）	第1巻	p. 301	塵塚談	

## 生業

大分類	小分類	項 目	巻数	ページ	作 品 名	挿絵
衣	髪	呉服物商人の事	第2巻	p. 169	事蹟合考	
		（髪）油店の祖	第1巻	p. 185	我衣	
		（髪結床）	第1巻	p. 225	我衣	
	かぶりもの	綿帽子売の事	第1巻	p. 287	塵塚談	
	はきもの	（雪踏屋）	第1巻	p. 204	我衣	
食	すし	鮓売	第1巻	p. 325	後はむかし物語	
		おまん鮓	第5巻	p. 400	江戸塵拾	
	そば	正直そば	第1巻	p. 219	我衣	
	水茶屋	江戸町々に水茶屋出る事	第4巻	p. 99	江戸真砂六十帖広本	
	料理茶屋	料理茶屋	第2巻	p. 287	蜘蛛の糸巻	
	魚介類	魚売の事	第1巻	p. 283	塵塚談	
		鯛売の事	第1巻	p. 293	塵塚談	
	野菜類	青物売の事	第1巻	p. 283	塵塚談	
	だんご	お亀だんご	第5巻	p. 399	江戸塵拾	
		米つき団子	第5巻	p. 399	江戸塵拾	
	まんじゅう	（饅頭店）	第1巻	p. 168	我衣	
	もち	幾世餅（小松屋）	第2巻	p. 222	墨水消夏録	
		両国橋幾世餅が事（小松屋）	第4巻	p. 71	江戸真砂六十帖広本	
	酒	（豊島屋＝酒ディスカウントショップ）	第1巻	p. 188	我衣	
	たばこ	（刻煙草売）	第1巻	p. 220	我衣	○
		キザミ煙草売	第1巻	p. 254	賤のをだ巻	
		（ガチャガチャ多葉粉売）	第1巻	p. 280	塵塚談	

その他		(品切物売)	第1巻	p. 169 p. 190	我衣	
		十九文店 (ワンプライスショップ)	第1巻	p. 187	我衣	
		(三井越後屋・白木屋・大丸)	第1巻	p. 187	我衣	
		木綿売の事	第1巻	p. 287	塵塚談	
		江戸自慢の事 (生業いろいろ)	第1巻	p. 299	塵塚談	
		針がね売	第2巻	p. 10	奴師勞之	
		蚊屋うり	第5巻	p. 400	江戸塵拾	
		トツカエベイ	第5巻	p. 402	江戸塵拾	
	扇・団扇	扇地紙売	第1巻	p. 241	賤のをだ巻	
		扇地紙売の事	第1巻	p. 289	塵塚談	
		団扇売	第1巻	p. 326	後はむかし物語	
		うちはうり	第2巻	p. 276	蛛の糸巻	
		(扇うり)	第2巻	p. 276	蛛の糸巻	
	現金掛値なし	三井現金安売の祖	第1巻	p. 187	我衣	
		現金掛直なしの始 (越後屋)	第1巻	p. 322	後はむかし物語	
		(現金無掛直)	第3巻	p. 147	神代余波	
	瀬戸物	瀬戸物屋	第1巻	p. 166	我衣	
		瀬戸物焼継の事	第1巻	p. 293	塵塚談	
	歯磨	(歯磨売)	第1巻	p. 256	賤のをだ巻	
		(歯磨売)	第1巻	p. 300	塵塚談	